

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
堀内正博			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
矢野 晋吾		青山学院大学 総合文化政策学部	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	AYGa-110702-0	7人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

7名の受講者が、テーマの選定、文献の渉猟、仮説の定立、アンケート調査票の設計、アンケートの実施、データの分析、報告書の作成に至るまで、互いに助け合いながら、それぞれの役割を十分に果たし、定量データによる社会調査の全体を体験することができた。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

大学生の菓子の購買およびエコ、広告に関する意識調査

2. 調査の内容／概要：

大学生の菓子の購買・消費行動を明らかにすることが目的である。様々な角度から質問項目を設定して、データを解析することにより、菓子の購買・消費行動を明らかにした。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

母集団は、大学生。収集した標本数は501サンプル。調査実施の制約から、必ずしもランダムサンプリングとはならず、青山学院大学の学生が多数を占めた。

4. 主な調査項目：

菓子に対する選好、菓子の購入頻度、菓子の購入する際に重視する点、菓子に関する情報の情報源、環境やエコに対する意識、菓子の広告に対する意識、など。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

調査票（質問票）に基づく面接調査。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

調査の実施時期は、2011年8月から9月。調査は、受講学生が行った。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

有効回収票数501。回収率100%

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

記述統計、回帰分析、因子分析。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

以下のようなトピックについて考察した。1. 大学生の菓子に対する消費行動と購買行動、2. 菓子の購買動機、3. 菓子の購買動機、4. 菓子がもたらす食生活の変化とその要因、5. 食の安全性と菓子の購買行動に関する考察、6. 菓子の購買行動に見るエコ意識、7. 広告キャラクターの知名度と商品イメージ。

10. 報告書刊行の予定と概要：

報告書はすでに完成している。内容は「9. 調査の結果」に示した調査の分析結果をまとめる。